

無量寺から大福寺まで・・・約20分

宝来山神社には、無量寺前の道を鋭角に左に曲がり数分行くと小田井用水路。ここを右に水路に沿って進む（下の写真）と前方に神願寺が見えてきます。

大福寺には、宝来山神社の社務所横を道なりに進み、突き当りを右に曲がりあぜ道を歩きます。上の写真のように歩きにくい所があります。

少し不安な方は宝来山の橋のたもとから青い道を行っても大福寺に行けます。



ポイントの説明

⑧ 宝来山神社

色鮮やかで美しい本殿を持つ宝来山神社。創建について明確にはわかりませんが、社伝によると、宝亀4年（773年）和氣清麻呂が八幡宮を勧請し、八幡山を称したのにはじまるといわれています。時代は移り平安末期頃、文覚上人が熊野・高野山の参拝の折ここに立ち寄り社殿を建立されたといわれています。

織田信長が高野山を攻めたときの戦火で焼け落ちた社殿は、慶長19年（1614年）に再建されました。その時本殿四社の第一殿と第三殿は折居村の大工、第二殿と第四殿を大藪村の大工とに分かれて施工されました。朱塗りで春日造、椽皮葺の見事な細工が施された本殿四社は昭和25年国の重要文化財に指定されました。脇社である、東殿と西殿は建立の年代はわかりませんが、現在の社殿は本殿より新しく江戸時代中期以後に造営されたものと認められています。昭和46年県の文化財に指定されました。また重要文化財である「かせだ荘絵図」にはかせだ荘の田地や山林、庄民の住居などの様子が描かれ、当時の様子を知る上で貴重な品です。